

はじめに



平成15年版千葉県環境白書をここに公表します。

本書は、本県の環境の現状や環境保全に関する施策の実施状況を平成14年度を中心に取りまとめたもので、昭和46年1月の創刊以来、第34回目の白書となります。

環境に対し大きな負荷を与え、様々な問題を引き起こしてきた、大量生産・大量消費・大量廃棄型社会経済システムから、資源循環を基調とする持続可能な社会への転換が急がれています。

今こそ、一人ひとりが様々な課題を地球規模で考え、行動し、多様な主体が参画し、環境問題を総合的に解決していかなければなりません。

そのため、本県では、すべての施策分野において環境の視点を組み入れ、自然との共生の実現、大量消費型社会から循環型社会への転換など、「みどりの変革」を進めてまいります。

平成15年3月には、人と里山との新たな関係の構築を目指し、「千葉県里山の保全、整備及び活用の推進に関する条例」を制定するとともに、5月には「バイオマス立県ちば推進方針」を策定し、再生可能なバイオマス（生物由来の有機性資源）の利用を進めています。

また、10月からは、八都県市共同の取組として、ディーゼル自動車に対する運行規制を開始するとともに、本県独自の取組として、「千葉県廃棄物の処理の適正化等に関する条例」や「千葉県土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例」の完全施行により、不法投棄防止対策や残土埋立対策の強化を図っているところです。

身近な地域の環境問題を解決しつつ、環境への負荷の少ない持続可能な社会の実現を目指し、県民の皆様と力を合わせ、「環境づくり日本一」の千葉県をつくってまいりたいと思っております。

この白書を通じて、県民の皆様にも、一人ひとりの行動と環境とのかかわりについて改めて認識していただくとともに、県の施策に対する理解を一層深めていただければ幸いです。

平成16年2月

千葉県知事 堂本 暁子